

# 解 答 速 報



## 日本医科大学 一般選抜前期

英語

医学部受験予備校  
医特

[ I ]

問 1	1. argued	2. reject	3. accompanied	4. analyzing	5. becomes	6. arising
問 2	(ア) → have		(カ) → die			
問 3	<p>運動や頭の体操，厳格な食事制限，ビタミン剤やサプリメントの服用を通じて，なんとかして死をごまかし，できるだけ長生きしようとするアメリカ文化の価値観（及びその価値観を有する人々）。</p> <p>[別解] 医療や生活習慣を駆使し、可能な限り寿命を延ばすことを最優先しようとするアメリカ文化の価値観、またはその価値観を持つ人々。</p>					
問 4	<p>The author uses the example of stroke to show that while medical advancements reduce mortality, many survivors often suffer from prolonged disability. Surviving does not necessarily mean a better quality of life.</p> <p>[別解] By using the example of stroke, the author wants to highlight that, through advancement in medicine, the number of deaths from stroke has greatly declined, but stroke survivors still suffer from disabilities such as paralysis or inability to speak, so this merely means that the process of dying has been prolonged.</p>					
問 5	(う) ・ (か)					
	<p>第 14 段落の第 7 文で、「医師が検査や治療を提案すると，それを望まないもつともな理由を見つけなければならなくなる」とあり，また第 8 文で，「医学的にも，そして家族にも後押しされることで，ほぼいつも医師の提案を飲むことになるだろう」とあることから，選択肢(う)の「現在の医療実践では，患者は治療を受け入れたり辞退したり容易に選ぶことができる」という内容は本文該当箇所の記述と合致しない。</p> <p>第 9 段落で「罹病率を低くするという考え方から，再生医療や臓器移植への関心が高まった」と説明されているが，選択肢(か)「罹病率を低くするという考え方は，医学の進歩の結果として長生きを約束する考え方である」では因果関係が逆になっているので，不適切である。</p>					

問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11
c	a ・ c	c	b ・ c	d	a ・ d

[ II ]

The author argues that extended lifespan do not always lead to a better quality of life. I mostly agree with this opinion. Simply prolonging life can increase the burden not only on individuals but also on their families and the working generation, who pay taxes. This can create challenges for society as a whole. Thus, I support the author's view that medical decisions should consider social impact, not just individual longevity.

[Ⅲ]

問 1	問 2	問 3
b・c	a・c・d	b

問 4		問 5		問 6		問 7		問 8	
(1) c	(2) d	(1) a	(2) d	(1) e	(2) d	(1) d	(2) a	(1) a	(2) b

～講評～

[Ⅰ]: 「長生きに対してアメリカ人に強迫観念を抱かせる現代医療への疑問」について、筆者が提案するかたちで描かれた英文であった。理由説明問題では記述量が多くなるうえに、「全てを選べ」という記号問題が4題出題されており、非常に時間のかかる大問だと言える。問9の選択肢bの even if he is unconscious と、本文の該当箇所の記述 even if I am conscious but not mentally competent が一致するかどうかの判断に関しては、苦勞した受験生もいるかもしれない。

[Ⅱ]: 大問[Ⅰ]で述べられた内容に対する自由英作文。これまでと同じスタイルの出題である。

[Ⅲ]: 発音・アクセントと、語の定義を求める問題で、こちらも例年と同じ出題形式である。語定義問題では、今年は問われている知識自体はそこまで難しいものがなかった。

出題傾向および分量・難易度はいずれも昨年並であった。合格には60～65%を目指したい。



メルマガ登録（無料）または LINE 公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！  
メルマガ登録は左の QR コードから、LINE 友達登録は右の QR コードから行えます。



<p><b>渋谷校</b></p> <p>☎ 0120-142-760</p> <p>東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p><b>名古屋校</b></p> <p>☎ 0120-148-959</p> <p>名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p><b>大阪校</b></p> <p>☎ 0120-142-767</p> <p>大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 <b>麹町校</b></p> <p>TEL : 050-1809-4751</p> <p>東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p><b>京都校</b></p> <p>TEL : 075-746-4985</p> <p>京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p><b>医学部特訓塾</b></p> <p>TEL : 03-6279-9927</p> <p>東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>